

CorelDRAW Graphics Suite 12 サービス パック 1

このアップデートで改善された点

CorelDRAW

- 切り抜かれたビットマップは、効果を適用した後も、切り抜かれた状態が保たれます。
- CorelDRAW の Corel PHOTO-PAINT で OLE を使用してビットマップを編集しても、解像度の設定が保たれます。
- オブジェクトをグリッドにスナップしても、オブジェクトの境界ボックスが認識されます。
- ベジェ ツールとスマート描画ツールの間で競合していたショートカット キーが訂正されました。
- 選択ツールがアクティブになっても、曲線/オブジェクト上のテキスト プロパティ バーが正しく更新されます。
- メニュー バーと同じ行に固定されるツールバーが正しく整列されます。
- タイトル バーをダブルクリックしてアプリケーション ウィンドウの大きさを元に戻しても、メニュー バーの高さが保たれます。
- フランス語 (ベルギー) 仕様のキーボードを使っている場合でも、アプリケーションをインストールした後に正しいキーボードが選択されます。
- [開く]、[インポート]、[エクスポート] の各ダイアログ ボックスからファイルをワークスペースにドラッグしても、ファイルを開けるようになりました。
- F キーと同様に、マウスのホイール ボタンでもズームできるようになりました。
- F2 キーを使ってズームしても、バックグラウンドのオブジェクトがずれることがなくなりました。
- Corel PHOTO-PAINT がインストールされていなくても、ビットマップの編集機能がすべての場所でアクティブになります。
- [Web イメージの最適化] ダイアログ ボックスで、エクスポートする個々のオブジェクトが認識されます。
- オブジェクトを移動しても、コネクタ ラインが中心点で切れることがなくなりました。
- ベクトル オブジェクトに色相/彩度/明度の効果を適用できるようになりました。
- 埋め込まれたチャートのグリッド ラインが正しく表示・印刷されるようになりました。
- Ctrl キーを押しながらオブジェクトをドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 塗りつぶしたオブジェクトの上のガイドラインを簡単に選択できるようになりました。
- どのドッキング ウィンドウが開いていても、デフォルトのガイドライン カラーが保たれます。
- 「ファイルのコピー中にエラーが発生しました。TEMP または出力ドライブがいっぱいの可能性があります」というエラーメッセージの誤動作が修正されました。
- ポルトガル語 (ブラジル) のスペル チェック辞書が更新されました。
- Microsoft Internet Explorer からテキストをコピーして貼り付けるときに、言語 ID が保たれます。
- テキストを編集しても、その下のオブジェクトがずれることがなくなりました。
- テキストを回転させても、上付き文字や下付き文字がずれることがなくなりました。
- 手動オフセットが設定されたテキスト オブジェクトを正しく開くことができるようになりました。
- バージョン 9 以前の形式でファイルを保存しても、テキストが正しく表示されるようになりました。
- テキストの編集時に、新しいテキストに正しいスタイルが適用されるようになりました。
- CorelDRAW 8/9 で中国語のテキストを開いたときに、正しいエンコードで表示されるようになりました。
- 日本語と欧文のテキストを編集時に、それぞれ適切なフォントが適用されるようになりました。
- 日本語でもテキスト シンボルが正しく機能するようになりました。
- 中東言語のテキストの安定性の問題が修正されました。
- 十字カーソルを使っているときにテキストをクリックしても、C.A.R.M. が開くことがなくなりました。

Corel PHOTO-PAINT

- モノクロのイメージを反転させても、Corel アプリケーション回復マネージャ (C.A.R.M.) が開くことがなくなりました。
- [グループ ポリシー] の [最近開いたドキュメントの履歴を保存しない] オプションを有効にしても、ファイルを開いたり保存したときに C.A.R.M. が開くことがなくなりました。

Corel R.A.V.E.

- ファイルを開いたときに、[タイムライン] ドッキング ウィンドウが設定されます。

Corel CAPTURE

- Corel CAPTURE がシステム トレイでアクティブになっていても、オペレーティング システムのシャットダウンは中断されません。

カラー マネージメント

- モニタのキャリブレーションがオフになっていても、線形の透明部分の下にあるビットマップが正しく出力されます。
- CMYK オブジェクトにインタラクティブ透明が適用されていても、サンプル カラーが正しいカラー値で表示されます。

印刷

- ジョブ情報、日付、LPI などのフィールドが日本語でも正しく出力されます。
- カラー分解に関するプリント情報のテキスト間隔が正しく表示されるようになりました。
- 回転したビットマップに透明度を適用しても正しく印刷されます。
- 配置された Adobe Encapsulated PostScript ファイルにクリッピング パスが含まれていても正しく出力されます。
- WingDings フォントの特定の文字が PostScript プリンタで正しく印刷されるようになりました。
- PostScript プリンタで一重引用符が正しく印刷されるようになりました。
- [カラー分解のアドバンス設定] ダイアログ ボックスの [ハーフトーンの種類] オプションを変更しても、PostScript エラーが発生しなくなりました。
- レンズやドロップ シャドウを使用し、PostScript 以外のプリンタで印刷しても、極端に大きなスプール ファイルが作成されなくなりました。
- [ページ全体をビットマップ化 (DPI)] チェック ボックスをオンにして、PostScript 以外のプリンタで印刷しても、イメージの上に白い線が出力されることがなくなりました。

PDF

- Adobe Photoshop 7.0 で作成した PDF ファイルをインポートしても、テキストが保たれます。
- 縦書きの中国語文字をインポートしても、回転されることがなくなりました。
- エクスポートされた日本語のテキストが、正しくインポートされるようになりました。
- OpenType フォントをインポートしても、スタイルが維持されるようになりました。
- シングル スポットのカラー グラデーションが正しくエクスポートされるようになりました。
- 透明のドロップシャドウが正しくエクスポートされるようになりました。

一般的なインポート/エクスポート フィルタ

- ラスタ形式のファイルをエクスポートしても、マイター制限が保たれます。
- Adobe Photoshop CS からサンプル ファイルをインポートしても、C.A.R.M. が開くことがなくなりました。
- ATA TIFF (CCITT Group 4 compression) 形式がサポートされるようになりました。
- TIFF/SCT ファイルをインポートするときに、OPI リンクの長いパスが完全に維持されるようになりました。
- 日本語テキストが含まれている Microsoft PowerPoint (PPT) ファイルでも、日本語テキストが正しくマッピングされてインポートできるようになりました。
- EPS ファイルをインポートしても、テキスト プロパティが正しく維持されるようになりました。
- HPGL ファイルをエクスポートしたときに、曲線解像度の設定によってノードを正しく減らすことができます。
- すべての種類のベクトル ファイルをインポートするときに Enter キーを押すと、コンテンツが自動的に中央に揃うようになりました。
- UTF-8 形式の TXT ファイルをインポートしても、アプリケーションがシャットダウンすることがなくなりました。
- テキスト ファイル (*.txt) を正しい言語 ID でインポートできるようになりました。

Adobe Illustrator (AI) のインポート

- 日本語の文字が正しくインポートされるようになりました。
- Unicode のファイル名が付いたファイルを正しくインポートできるようになりました。

CGM のインポート/エクスポート

- 角を丸めた長方形をエクスポートするときのノードが少なくなりました。
- インポートしてもテキストが正しく配置されます。
- インポートしてもグループが保たれます。

DXF のインポート

- 入力方法に応じて、日本語の文字がテキスト文字列から抜け落ちることがなくなりました。
- Unicode のファイル名が付いたファイルを正しくインポートできるようになりました。

SVG のインポート/エクスポート

- エクスポート時に、シンボルによって有効な構文が作成されるようになりました。
- [選択オブジェクトのみ] チェック ボックスをオンにすると、グラフィックの寸法が、選択したオブジェクトの境界ボックスのサイズに反映されるようになりました。
- ファイルにラウンド トリップを適用すると、重複した xlink ネームスペースが削除されます。
- インポート時に、Ex 単位と Em 単位が正しく維持されます。

VBA

- Application.Quit が正しく機能するようになりました。
- ドキュメントをドラッグしたりダブルクリックして開いたときに、DocumentOpen イベントに正しくアクセスするようになりました。
- パターン塗りつぶしがマクロで正しく作成されるようになりました。
- グラデーション塗りつぶしのマクロを実行しているときに、アプリケーションが正しくシャットダウンするようになりました。